

# 戯曲セミナーって、どんなセミナー？

## 受講生だった長田さんに聞いてみました。

### 演劇界への扉が開いた！

**鈴木** 長田さんがセミナーを受講したのは、何年前になりますか？

**長田** 二〇〇七年に参加しました。それまで私はミュージカルを書いていたんですが、30歳になるころ、これから現代演劇をやりたいって思ったんです。でもどうやって現代演劇の世界に入っていくかわからないか全然わからなくて。戯曲セミナーに行けば、少なくともいま第一線で演劇を作っている先生方に一番近いところに行ける。そこに行かないと出会えない人たちがいて、行けば確実に出会えるはず。えいって気持ちで申し込みました。

**鈴木** どんな人が来てました？ 演劇を実際に行っている人も多かった？

**長田** 私の同期には劇団をやっている人は少なかつたんですけど、ひとり芝居で全国を回る俳優さんとか、オリジナリティのある人が多い期でした。

**鈴木** 生徒さんの年代の幅もけっこうありますよね。

**長田** すごくあります。若手は20歳くらいから、上は定年を過ぎた方も。

**鈴木** 劇作家をめざす人ももちろん多いけど、自分の楽しみとして演劇を勉強したいっていう人も、このころ増えている気がする。

**長田** 同期の中にも、長年演劇ファンで、方法論を知りたくなつたから来たっていう人もけっこういました。東京以外からも来ていて、いま大阪に住んでるとか、そういう人も。活動している人とはお互い連絡取り合ったり、いまだに同期とはつながりがあります。あと、戯曲セミナーって1年で終わるんですけど、セミナー出身者って言うと、いろんな先生方に出身者ならんばれて言ってもらえたり、私自身も出身なんですって人に出会ったり、じゃあ通し稽古来ませんか？って誘ったり

**鈴木** 戯曲セミナーはもう14年続いている。卒業生の数もかなりのものですね。

**長田** セミナーの間だけのつながりじゃなく、ずっと続いていくつながりに発展させていくことができるので、これはもう本当に戯曲セミナーに入っ

かった。1年限りで終わるカルチャースクールとは違って、その人次第ではありますが戯曲セミナーは……。

**鈴木** 終わらない。

**長田** はい。受講料は、演劇界の扉を開くためのなにかとしても考えていただけたらいいかなって思っています。

### 基礎から実践テクニックまで

**鈴木** セミナーは連続した演習的な講義と、いろんな劇作家たちが次々と出てくる「コマ読み切りの講義との、組合わせでできてますよね。

**長田** 一年間に大体25人くらいの先生がいらっしゃいました。私の年は、最初に横内謙介さんに概論みたいなことをお話しただいて、それから比較的わかりやすく、プロットとはなんぞやとか構造的な書き方を教えてくださった先生が続いて、それから実践的な授業もあって。土田英生さんの授業も印象的でした。5行のふたりの会話で、彼らが恋人同士だったことをわかるせるとか。

**鈴木** たった5行？

**長田** 最初はそつです。まずは5行の中で、ふたりが別れた恋人同士なことがわかればいい。だんだん条

件が加わって、10行の中で場所は駅のプラットフォームで電車が来ないとか、有名レストランの帰りだとかをわからせる。

件が加わって、10行の中で場所は駅のプラットフォームで電車が来ないとか、有名レストランの帰りだとかをわからせる。

**鈴木** それはいい練習になりそうだな。ちょっとやってみたいね。

**長田** 受講生が書いたのを土田さんが直すと、やっぱり面白くなるわけですね。

**鈴木** 青木先生は講義ではなにを？

**青木** 僕はグループ座で『エデンの東』を書いたときに、演出の鈴木裕美さんから、ハリウッドラインを徹底的に教わったんですよ。どうドラマは動くべきかっていうハリウッドラインの書き方を講義しつつ、自分がこれまでどうやってきたかを話すようにしてましたね。

**鈴木** 前川先生は？

**前川** 情報の出し方を意識的にやるってこととか。

**鈴木** 作劇のテクニックですね。

**前川** そう、テクニック的な情報の出し方。それから、誰に向けてやっていると明確にすること。あと書き方以前の、自分の方法論を見つけないためにはどうしたらいいかっていうこと。こういう失敗をしてこ

いう成功体験があって、自分はこうやってきました。いまこうして書いていますっていうことを。

**長田** 実践的なこと他に、講師の劇作家さんが自分の作品について語ったり、題材をどこから探すとか、舞台装置や音響や照明にどうこだわったとか、芝居を立ち上げるやりかたや、演劇の哲学や美学みたいなものを語ってくださる。それがすごく大き

かったですね。演劇に対しての考え方の引き出しの数が増えていく。そのときはわからなくても、2、3年経ったあとに支えになったり。いまだに困ると、ノートを読み返しています。

### 想像していなかった10年後がくる？

**鈴木** テレビのシナリオライターをめざす人は「ゴールデンタイムのヒットドラマを書くとか。でも劇作家のスタンスはそれぞれ。青木くんみたいに大きな舞台をたくさんやってる人もいれば、前川くんみたいにひとつの劇団をベースにしてひろげる人もいる。

**長田** 私はちょうど今年で旗揚げ5年目なんです。3年目くらいから、上演期間にロビーで名刺交換をするようになって、ラジオドラマを書くとか、テレビドラマを書く研究会に参加するとか、小説を書く話だとか、いろんななにかがちょいちょい来るようになってきたんです。

**鈴木** がんばってやっていると新しいつながりが生まれますよね。前川くんは猿之助さんのスーパー歌舞伎も手掛けた。

**前川** もうわけわかんない。なんで歌舞伎やってんのか。

**鈴木** 思いがけなかったことってしょ？

**前川** 思いがけなかった。

**鈴木** できあがったものを見てどうだったんですか？



**長田育恵** 1977年生まれ、東京都出身。2007年に日本劇作家協会戯曲セミナーを受講、翌年に同研修課で井上ひさし氏に師事。09年、てがみ座を旗揚げし全公演の戯曲を手掛けるほか、依頼公演戯曲・ミュージカル脚本・TVシナリオ等も手がける。12年に『青のはてー銀河鉄道前奏曲』で第16回鶴屋南北戯曲賞ノミネート。13年には『地を渡る舟-1945/アチック・ミュージアムと記者たち-』で第17回鶴屋南北戯曲賞と第58回岸田國士戯曲賞にノミネートされる。15年に同作の再演にて第70回文化庁芸術祭新人賞受賞。



**青木豪** 1967年生まれ、神奈川県出身。演劇集団円・演劇研究所卒業後、97年に劇団グリングを旗揚げ、全18公演の作・演出を務め09年に劇団休止。2014年、正式解散。近年の舞台作品は、『八犬伝』『断色』『鉦切り丸』『9days Queen〜九日間の女王〜』『天鼓』等の脚本、『往転-オウテン』（第66回文化庁芸術祭新人賞受賞）の演出など。09年に脚本を手がけたHTBスペシャルドラマ『ミエルヒ』では文化庁芸術祭賞テレビ・ドラマ部門優秀賞などを受賞。2013年、文化庁新進芸術家派遣制度により1年間ロンドンに留学。

## 2015年度 講義紹介 (全30回・12月時点)

\*講師と講義内容は年度によって変わります

### 第1回 横内謙介

オリエンテーション。“書く”うえで大事なことを、近松や黙阿弥を引きながら。

### 第2回 土田英生

他者に見せるために必要な客観性とは？台詞の役割を知るエクササイズも。

### 第3・6・8回 長谷基弘

戯曲の要素とは？プロットとは？エクササイズを通して学ぶ劇作の基本。

### 第4回 マキノゾミ/ファシリテーター: 檜原拓

宮本研『美しきものの伝説』を読み解く！課題戯曲を読んでディスカッション。

### 第5回 坂手洋二

映画と演劇の違いは？どこまでが戯曲なのか？劇言語の多様性と可能性。

### 第7回 鈴木聡

着想からプロット、演出まで。上演したばかりの最新自作を語り尽くす。

### 第9回 故林広志

オリジナルテキストと映像資料で学ぶコント。課題コントの添削もあり。

### 第10回 青木豪

小劇場と大劇場の違いは？迷いながら見出てきた自身の執筆方法を語る。

### 公開講座2015 長塚圭史、青井陽治、他

1) 変幻自在の劇場空間を知る、「劇場を体感するワークショップ」。  
2) ゲストを迎え、2.5次元ミュージカルについて語ったミュージカル講座。

### 第11回 篠原久美子

テーマ、状況、起承転結。徹底分析によりわかることは？また分析の方法は？

### 第12回 丸尾聡

俳優により立体化される台詞。話し言葉を書くために、空間と身体感覚を養う。

### 第13・16・19・21・23回 平田オリザ

実習スタイルの連続講義。2015年度は平田オリザによる、短編創作のグループワークを実施。

### 第14回 佃典彦

不条理な戯曲の「いつ」「どこ」「だれ」をどう突き詰める？質疑応答の時間もたっぷり。

### 第15回 中屋敷法仁

タイトル、登場人物、台詞。その破壊力と愛と美学を、強度をもって実現するには？

### 第17回 ケラリーノ・サンドロヴィッチ

どうやって劇作家となりなぜ続けているのか。近作を例に自身の書き方を惜しみなく。

### 第18回 永井愛

価値観の異なる人間たちを書くために。世界を見る視点の置き方と作家性。

### 第20回 鴻上尚史

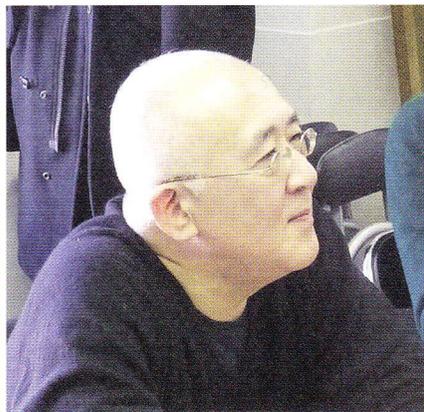
ドラマを生む。ドラマを動かす。登場人物の目的と障害や葛藤を行動で表現するには。

### 第22回 長田育恵

たったひとりで劇団を旗揚げ。戯曲セミナーで書いた作品を上演につなげるまで。



**前川知大** 1974年生まれ、新潟県出身。活動の拠点とするイキウメは2003年結成。超常的な世界観で、身近な生活と隣り合わせに現れる異界を描く。空間と時間を同時に編集するシームレスな演出を特徴とする。2013年、劇団からはみ出した別の表現を求める場「カタルシツ」を開始。『太陽』で第63回読売文学賞、第19回読売演劇大賞グランプリを受賞。



**鈴木聡** 劇作家協会教育部 戯曲セミナー担当 1959年生まれ、東京都出身。会社勤めの傍ら84年、劇団サラリーマン新劇劇吠屋(現ラッパ屋)を結成。脚本・演出を担当。『阿国』『寝坊な豆腐屋』『ヒットパレード』などミュージカルや商業演劇、『あすか』『瞳』(NHK)などテレビドラマの脚本も多数。『あしたのニュース』『八百屋のお告げ』で第41回紀伊國屋演劇賞個人賞、『をんな善哉』で第15回鶴屋南北戯曲賞を受賞。

**前川** 勉強になりました。歌舞伎の中でも澤瀉屋のスーパー歌舞伎は、子供からおばあちゃんまで、一回聞いて理解できるくらいに明快さを求められます。会話をわかりやすく短い言葉に変えて、幅広い層にわからせることや、大劇場で台本書くってどうということかがわかった。できあがったらスーパー歌舞伎になってたんで、ちよっとほっとしたというか。

**青木** 僕は音楽劇『ガラスの仮面』の脚本と作詞を、蜷川さん演出で書いたことがあるんですけど、子供の頃から読んでいた大好きな漫画を、やはり昔から見て尊敬していた蜷川さんで舞台化、ということにかかわれるとは思ってなかった。蜷川さんは、周囲を壁で囲むのがあまり好きでないんで、室内シーンはなるべく公園とか外に置き換えるってのが課題に

なってる。室内の会話が僕は多いので、とても刺激的でした。

**鈴木** ひろがるよね。戯曲セミナー行って書き始めて、長田さんみたいに自分の劇団でやって、そこでまたつながりができて、10年後には歌舞伎やってもかもしれないし、蜷川さんとやるかもしれない。劇作家としてスタートしたときには全然想像してなかったことですよ。

**前川** 全然想像してなかった。

**鈴木** 演劇って多様なだけに、出合いでどうなっていくかわからない面白さがある。

**前川** シナリオライターを目指して事務所に所属してっていう人は、やっぱりシナリオライターですーっと行くんだろーし、歌舞伎を書く縁は生まれに

くいと思っんです。演劇の場合、職業として曖昧というか、ビジネスとしてあまり成り立っていない分、才能の部分だけが見えるんですかね。

**青木** それこそ小説とか、映画やテレビに誘われることもあるし。

**芝居を書くなら戯曲セミナー**

**青木** 一昨年に在外研修でロンドンに行って、芝居いっぱい観たんですよ。本も持ってって、こんなちゃんと読めるのは久しぶりだと思って、こんな楽しかった。役者さんはいろんな演出家と会っているんな方法を知ることができただけ、劇作っていうのはいろんな方法を知りようがなかったりするから、セミナーで大勢の講師から方法を聞けるのは、ほん

とにいいなあと思う。

**長田** 講師の先生が、これは読んでおすすめておすめ戯曲をおっしゃるんです。最初の頃ってなに読んでいいかも全くわからなくて、シエイクスピアってどこからどう手をつければいいのかとか、ギリシャ悲劇って言われても、みたいな気持ちになってたけど、先生からこれはこういうふうにならねえだよって聞くと、その1冊をまず読んでみようと思えるんですよ。先生がおっしゃった戯曲はノートに必ずメモして。講義のあとの飲み会に参加してくれる先生も多いので、そこでも楽しくお話ししながら教わることが出来ますし。

**鈴木** 難しい芝居やってくるから怖い人かなと思つたら、そつでもなかつたり。

**長田** すごいチャタリングだったり。

**鈴木** わりと人間好きな人が多いからね。演劇やるくらいだから。

**青木** そうなんです。人間好きなんです。

**鈴木** そういう意味で、戯曲を書くことから世界がひろがっていく可能性は大いにありますよね。

**長田** あると思います。ほんとに、来ないといつながらない人脈や世界がたくさんあるの。

**前川** ある程度やっちゃうと訊けないことが多くなるんで、そうなる前にやっちゃっていいです。いまさら訊けない日本の書き方。

**青木** うん、劇作家になつてからじゃ遅いよって。

**長田** ひとつ自分のことで確かと言え、いまの自分はないです。人生を変えるきっかけになつたセミナーでした。それだけは本当に断言します。